

観光地域づくり法人形成・確立計画（様式１） 記入にあたっての留意点

- ・ 様式１について、本記入要領に従い、簡潔かつ明瞭に記入すること。
- ・ 各項目に設定された枠内に記載内容が収まらない場合は、枠組みを拡大する等して記入すること。
- ・ 各項目の記載枠については、適宜、行や欄の追加等を行ってよい。
- ・ 記入に当たっては、「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」を参照すること。
- ・ 記入に当たっては、各項目について構想段階のものであっても可能とする。
ただし、構想段階の項目は、必ず赤字で記入すること。
加えて、構想段階の項目については、設定された枠内に、必ず各項目の実現・実行に向けたスケジュール等を明確に赤字で記入すること。

※次ページ以降に記入し、提出すること。

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 6 年 7 月 2 9 日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	地域 DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) DMO やつしろ	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 熊本県八代市	
所在地	熊本県八代市	
設立時期	平成 2 8 年 3 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	19 人【常勤 1 1 人（正職員 9 人・出向等 2 人）、アルバイト 8 名】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 福島 誠治 （出身組織名） 八代市	令和 2 年度途中に当時の代表理事逝去により、自治体の支援により八代市副市長が代表理事に着任、現在に至る。自治体の関係各課との連携など迅速に対応するための指導やアドバイスを頂いている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 中村 和博「専従」 （出身組織名）	令和 3 年 1 2 月に採用。他自治体の観光協会において専務理事を務めるなど、観光・物産の両面において経験が豊富である。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 佐藤圭太「専従」 （出身組織名） 八代市 OB	八代市役所で 3 4 年間勤務。持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）		

※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること		
各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 石橋 信明「専従」 （出身組織名）	DMO設立時から働き、観光振興全般の業務に従事。その中でも特にクルーズ受入に関する実績も多く、現在も船会社、旅行代理店との連携を密にしており、今後のクルーズ寄港の受入なども対応予定。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	<p>○熊本県八代市</p> <p>経済文化交流部 観光振興課（イベント、観光、物産、インバウンド） イベント推進課（イベント） 文化振興課（日本遺産活用） スポーツ振興課（大会宿泊斡旋、クルーズ振興課（大型クルーズ船受入）</p> <p>総務企画部 各地域支所 地域振興課（イベント、マーケティング） 農林水産部 フードバレー推進課（農産物の国内外販路拡大） ほか関係各課</p> <p>○熊本県</p> <p>商工観光労働部 観光経済交流局 （プロモーション、クルーズ船、教育旅行） 熊本県知事公室くまモングループ（くまモンを使った地域振興） 熊本県農林水産部流通アグリビジネス課（農林水産物等の国内外進出） （公社）熊本県観光連盟 熊本県県南広域本部 総務課・振興課（イベント、マーケティング）</p>	
連携する事業者名及び役割	<p>○旅行商品造成関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有限会社神園交通グループ営業部（タクシー協会） ・八代商工会議所（工場見学などの旅行商品、中心市街地活性化） ・JAやつしろ（収穫体験等の旅行商品・農産物の販路開拓） ・八代旅館組合・日奈久旅館組合（宿泊） ・泉町観光協会・日奈久観光協会（地区の観光推進） ・熊本県観光連盟（観光推進） ・八代漁協（水産業の振興及び舟出浮きの利用促進） ・やつしろ観光ガイド協会（観光客へのサービス向上） ・八代森林組合（林業の振興及びヘルスツーリズムの推進） ・YAMAH A八代工場（産業観光の推進） ・メルシャン八代工場（産業観光の推進） ・YKK八代工場（産業観光の推進） ・日本製紙八代工場（産業観光の推進） ・興人ケミカル八代工場（産業観光の推進） <p>○イベント等のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八代市体育協会（スポーツイベント開催） ・八代妙見祭保存振興会（妙見祭の栈敷席販売） ・やつしろ全国花火競技大会実行委員会（バスハイウェイ席の手配） ・八代市伝統文化活性化協議会（妙見祭などの伝統芸能の振興） ・湯の里日奈久振興会、住民自治（ONNSEN ガストロノミー実施） <p>○物産の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八代市商工会（物産品の企画・開発・販売） 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・八代よかこ物産館などの物販施設（農林水産物等の販売） <p>○地域活性化関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八代経済開発同友会（地域活性化の推進） ・八代青年会議所（地域活性化の推進） ・熊本県タクシー協会八代支部（２次交通の利用促進） ・九州産交バス（２次交通の利用促進） 						
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<p>【該当する登録要件】①</p> <p>（概要）観光資源の関係者や商工会議所、宿泊事業者の組合、交通事業者、商工会、行政等が参画し、当法人を形成している。</p> <p>また、観光・物産の両面において部会を設置しており、正会員及び一般会員から参画し、合意形成の場として運営を行っている。</p> <p>（登録要件）</p> <p>①代表理事は行政から着任 理事には観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、宿泊事業者、経済団体など幅広い分野の事務局長職が参画。また、監事には経済団体２団体に参加いただいている。</p> <p>また、顧問としてスポーツ、農林漁業、県などからも参加</p> <p>②法人の会員を分野で分け、観光振興事業、物産振興事業を推進するために令和４年度から役員会・全体会と開催、意見の集約を図っている。</p> <p>コロナ禍により令和２年～３年度は実施せず。</p>						
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による観光協力団体「きびっと隊」を結成し、定期的に勉強会を開催するとともに、各種イベントやクルーズ船寄港時のおもてなし向上や、観光案内のスタッフとして協力を仰いでいる。 ・地域ならではのイベント事業 ・お堀舟巡り ・大型クルーズ船入港時の通訳など ・地域の特産品である GI 商品 						
法人のこれまでの活動実績	<p>【活動の概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度 ふるさと納税事業 ふるなび ふるさと納税マルシェ（１０月７日～８日） 旅サラダ EXPO（１１月３日～５日） ふるさと納税寄付者ツアー ・令和５年度 観光物産イベント事業 熊本市内での観光物産展を開催（９回） ・令和５年度 クルーズ受入 旅行会社向け FAM ツアーの実施（１月２３日～２５日） ・地域一体型ガストロノミーツーリズム推進事業 インスタグラム（Flat_8246）での情報発信 ・令和５年度 八代市フェア 銀座熊本館で八代市の観光と物産の PR を実施 </td></tr> <tr> <td>受入環境の整備</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度 クルーズ船受入 大型クルーズ船１８隻の受入、岸壁でのおもてなし（８回） ・令和５年度 観光案内所運営業務 八代駅にある観光案内所の運営 ・令和５年度 マーケティング調査 八代市内の宿泊施設と連携し、旅行者の調査 ・住民アンケート調査 </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度 ふるさと納税事業 ふるなび ふるさと納税マルシェ（１０月７日～８日） 旅サラダ EXPO（１１月３日～５日） ふるさと納税寄付者ツアー ・令和５年度 観光物産イベント事業 熊本市内での観光物産展を開催（９回） ・令和５年度 クルーズ受入 旅行会社向け FAM ツアーの実施（１月２３日～２５日） ・地域一体型ガストロノミーツーリズム推進事業 インスタグラム（Flat_8246）での情報発信 ・令和５年度 八代市フェア 銀座熊本館で八代市の観光と物産の PR を実施 	受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度 クルーズ船受入 大型クルーズ船１８隻の受入、岸壁でのおもてなし（８回） ・令和５年度 観光案内所運営業務 八代駅にある観光案内所の運営 ・令和５年度 マーケティング調査 八代市内の宿泊施設と連携し、旅行者の調査 ・住民アンケート調査
事業	実施概要						
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度 ふるさと納税事業 ふるなび ふるさと納税マルシェ（１０月７日～８日） 旅サラダ EXPO（１１月３日～５日） ふるさと納税寄付者ツアー ・令和５年度 観光物産イベント事業 熊本市内での観光物産展を開催（９回） ・令和５年度 クルーズ受入 旅行会社向け FAM ツアーの実施（１月２３日～２５日） ・地域一体型ガストロノミーツーリズム推進事業 インスタグラム（Flat_8246）での情報発信 ・令和５年度 八代市フェア 銀座熊本館で八代市の観光と物産の PR を実施 						
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度 クルーズ船受入 大型クルーズ船１８隻の受入、岸壁でのおもてなし（８回） ・令和５年度 観光案内所運営業務 八代駅にある観光案内所の運営 ・令和５年度 マーケティング調査 八代市内の宿泊施設と連携し、旅行者の調査 ・住民アンケート調査 						

		八代市内市民向けのアンケート調査 ・令和5年度 八代市観光プラットフォーム構築 ボランティアガイドの育成
	観光資源の 磨き上げ	・令和5年度 八代市観光プラットフォーム構築 観光セミナーの開催 ・令和5年度 地域一体型ガストロノミーツーリズム推進事業 生姜料理のメニュー開発 飲食店を回遊するロゲインニングガストロノミー 地域料理と温泉を活用した ONSEN ガストロノミー ・令和5年度 八代市アウトドアツーリズム推進事業 アウトドアステーションやつしろの運営業務
【定量的な評価】 (定量的な評価) ONSEN ガストロノミー in 日奈久温泉 参加者 157 名 (前年比 +14 名) 観光マーケティング調査 令和5年4月～令和6年3月実施 552 サンプル (前年比+451) 住民アンケート調査 61 件 (前年実績なし) 観光物産イベント 9 回 (前年比 0) ふるさと納税 PR 業務 5 回 (前年比+5 回) 寄付者ツアー 参加者 13 名 (前年比+1 名) クルーズ船受入 18 隻 (前年比+18 隻) クルーズ船受入に関する FAM ツアー 1 回 (前年比 0) やつしろ全国花火競技大会バスツアー 参加者 4,043 名 (前年比+1,234 名) 物産展 16 回 (前年比+7 回) 15,810,700 円 (前年比+3,819,700 円) 飲食店を回遊するロゲインニングガストロノミー 168 名 (前年比+24 名) ふるさと直送便販売数 A 商品 272 個 (前年比 - 11 個) B 商品 324 個 (前年比+70 個) 教育旅行受入 175 人 (前年比-6 人)		

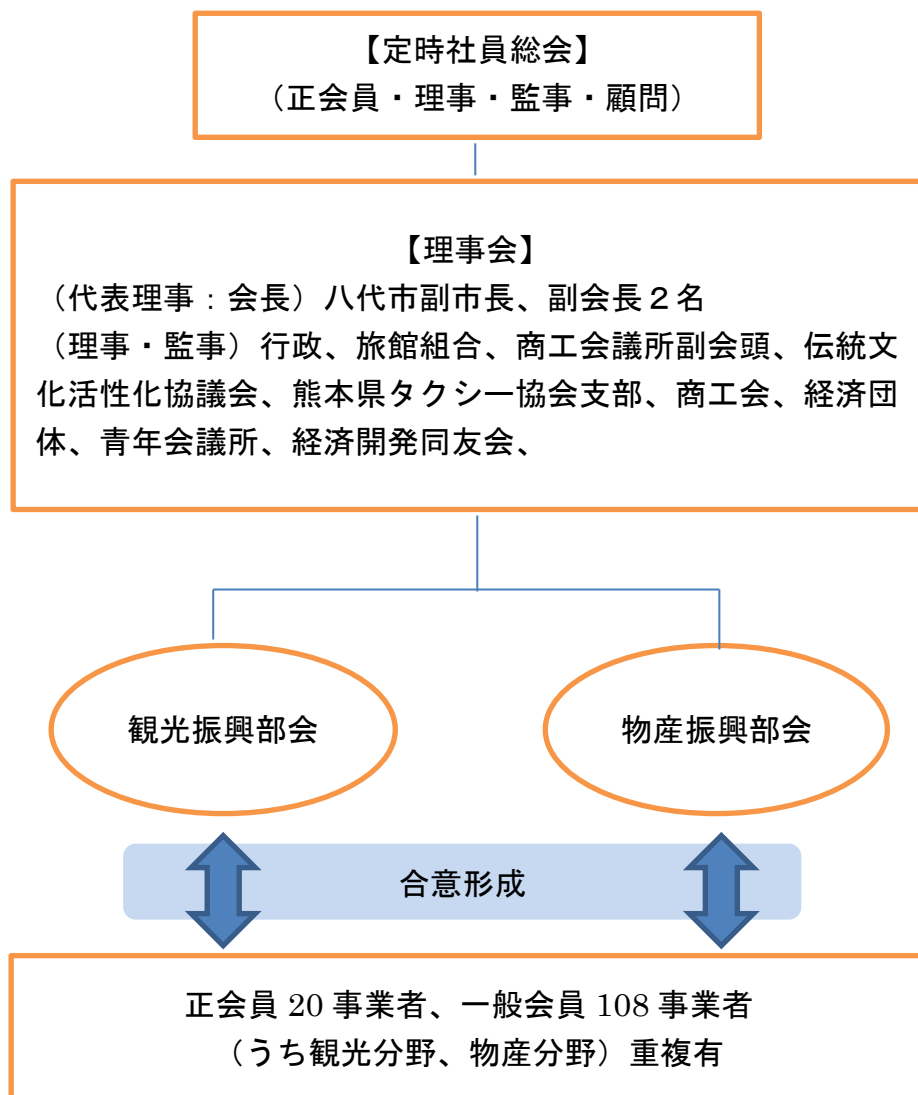
実施体制

※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

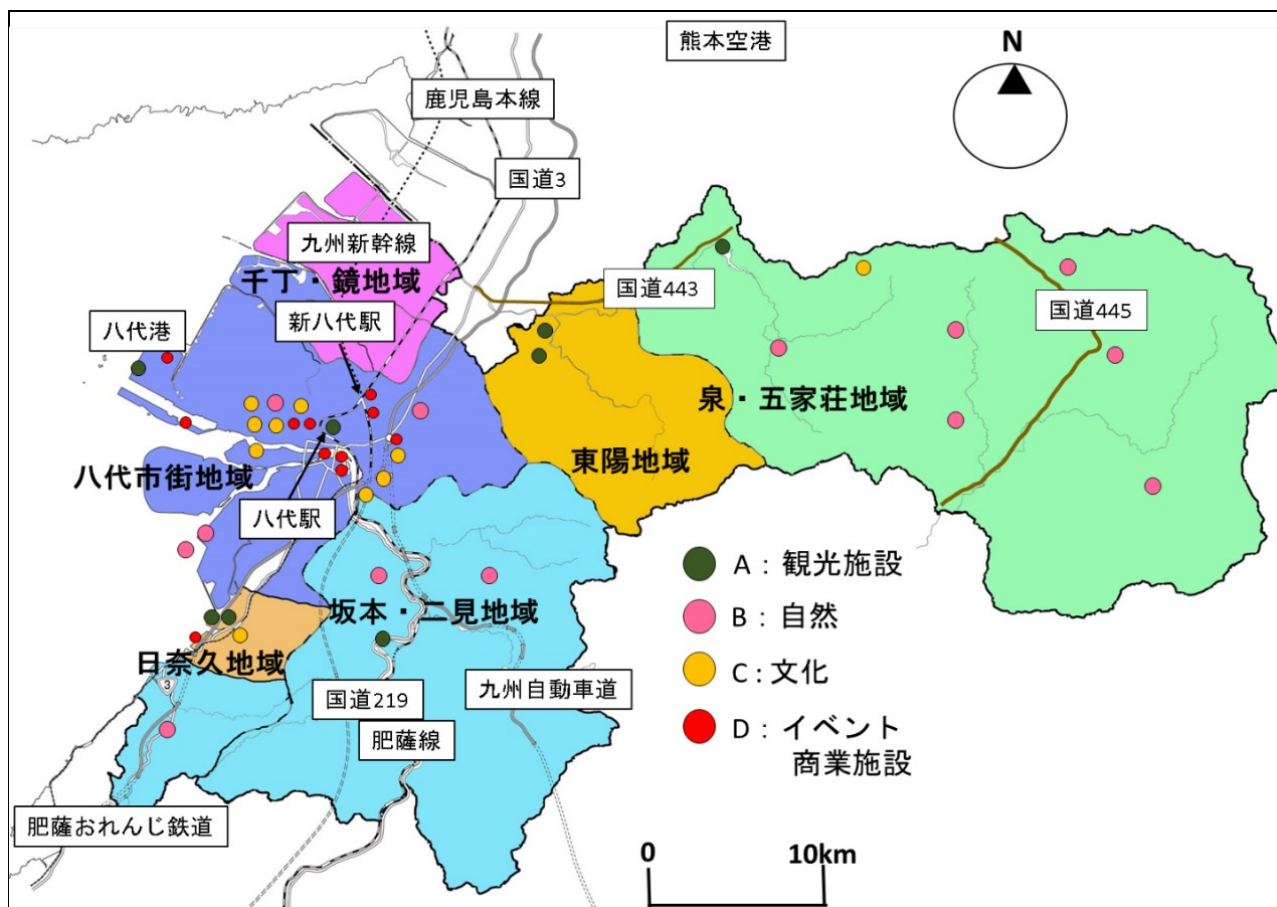
（一社）DMOやつしろは、構成団体として行政、宿泊業者、飲食業、交通事業者、商工業、経済界など多様な関係者が参画しており、官民が密接に連携した運営の実施している。

また、観光部門・物産部門の2分野において、部会長を設置し役員会・全体会を設定。法人運営時にあたり意見やアイデアを出す場として活用・運営している。

【実施体制図】

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

当法人がマーケティング・マネジメントする区域は、平成の大合併により次の区域により構成される。①八代市街地 ②日奈久地域（温泉街）③坂本・二見地域 ④千丁・鏡地域 ⑤東陽地域 ⑥泉・五家荘地域 であり、各地域の特徴（歴史・文化・農産物ほか）を活かして観光・物産の両面で振興している。

①八代中心市街地

八代市街地は、平成の合併前の八代市の大半を占める。旧八代市は、ここに日奈久地域と二見地域を加えた範囲である。熊本県南の中心的な市で、県下第2の人口を有する田園工業都市で日本三急流の一つである球磨川が分流して不知火海に注ぐ三角州地帯の北岸に市街地がある。

江戸時代には、熊本藩主細川氏の筆頭家老松井氏の城下町として栄え、中心市街地では、現在も商店街や公共施設、病院等の都市機能が多数集積し、商人文化の伝統が色濃く残る祭りが受け継がれている。また、当該区域には、昭和初期から本市の工業都市として地域発展に寄与した日本製紙八代工場、メルシャン八代工場などの工場が今でも点在している。

一方、江戸時代から行われてきた干拓地は、現在、トマトや米などの多くの農産物が生産され、特に冬春トマトは、日本一の生産量を誇る区域でもある。しかし、中心市街地の商店街を取り巻く状況が予想以上に変化したため、中心市街地の疲弊が進んでいる状況である。また、熊本地震での建物被害により、商業施設の閉鎖などあり、買い物客が減少している状況である。

ここにまちの活気と買い物客を呼び戻し、八代中心市街地から八代地域における活性化のうねりをおこす必要がある。令和5年度よりクルーズ船の寄港が再開され、より一層、国や県と連携して引き

続き誘致に努める。欧米豪の F I T を中心に誘致、旅行商品は海、山、川など総動員して歴史文化、生姜を活用した料理などをガストロノミーツーリズムとして令和 5 年度より展開中。

②日奈久地域（温泉街）

日奈久地区は本市の南部に位置し、天草諸島を望む不知火海（八代海）の海岸沿いに旅館街がある。木造三階建てが点在し往時の名残をとどめており、海の幸も豊富である。

合計 14 の泉源が集中しているが、現在は温泉協同組合を作り、一部の温泉を除いて共同管理している。湧出量は毎時 140 トン、ほとんどの旅館がかけ流しである。国道から一步入った所には白壁や木造三階建ての旅館があり、今でも昭和初期のひなびた雰囲気が残っており、古い風情を感じさせている。そのような雰囲気を感じながら日奈久の特産品であるちくわを片手に路地裏へ旅に出る散策は、観光客にのんびりとした時間と安らぎを与えている本市を代表する観光地域である。

ここでしっかりとしたマーケティングを行い、日奈久地区にある観光資源を生かし、リアリティーのある体験・過ごし方を顧客に提供できるよう商品化し、利益が地元へ落ちるシステムを構築していく。令和 3 年度より取り組んでいる ONSEN ガストロノミーツーリズムを中核として住民一体となり集客に注力している。

③坂本・二見地域

坂本村は、平成の合併で八代市に対等合併した。二見地域は、旧八代市の南端に位置している。

球磨川左岸の坂本村区域と二見地域は隣接し、大部分を山間地域が占め、同じような地形・産業が見られる。また、人々の交流も両地域間で活発に行われてきた一体性のある地域であるが現在は、過疎化と限界集落化が進んでいる。

両地域を含む球磨川流域は、鎌倉時代以来相良氏が居をかまえ、球磨様式と称される独自の仏教を展開していることから、仏像が数多く点在している。現在は、地元で採れた農産物の販売をはじめ、球磨川を活用したイベントやジビエの加工施設などを整備し、両地域とも地域の特徴を生かした活動を行っている。

④千丁・鏡地域

千丁町と鏡町は、平成の合併で八代市に対等合併した。両地域は、八代平野の北部に位置し、干拓起源の農村であり、現在もいぐさやトマトなどの多くの農産物が生産されている。特にいぐさは、日本一の生産量を誇り、数物だけでなく、加工食品としての商品開発を行っており、地域の代表的な特産品であるイグサの活用を広げている。この地域は区域が狭く隣接しあい、人々の交流も以前から活発に行われてきた。

⑤東陽地域

東陽村は、平成の合併で八代市に対等合併した。氷川水系左岸側の山間地域は旧八代市に隣接している。四方を山々に囲まれた圃場と大量の湧き水は、生姜の栽培に適した絶好な圃場となり、国内最大級の生産量を誇っている。この生姜で使用した生姜ジャムなどの加工食品は、市内外の方に好まれており、生姜は町おこしになくてはならない産物である。この地域の基幹産業は、農林業であり、しょうが以外でも、晩白柚や不知火など豊富な産物が収穫されている。八代生姜の生産地として、謎解きロゲイニングを中心に交流人口の拡大を図っている。

⑥泉・五家荘地域

九州山地の西部、川辺川の水源の山林地域の熊本県八代市（肥後国八代郡）東部の久連子（くれこ）・椎原（しいばる）・仁田尾・葉木・樅木の 5 地域の総称。昭和 57 年（1982 年）5 月 15 日に国定公園に指定され、豊かな自然と独自の伝統文化が注目されて観光地としての開発も進むことになった。春には新緑に輝き、夏には溪流で戯れ、秋には紅葉が彩り、冬には荘厳な雪景色を観光客に楽しませ、四季折々の多彩な顔を持っている「五家荘」をマーケティングし、都会では、体験できない天空の秘境をより多くの方に味わってもらいたい。

【観光客の実態等】

令和 5 年

延べ宿泊客数 282,086 人

延べ入込客数 2,249,855 人

宿泊費 12,149 円

お土産代 8,881 円

飲食費 6,419 円

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**① 八代中心市街地**

観光施設：松浜軒、八代城址、月見櫓跡の大銀杏、未来の森ミュージアム、

他 施 設：本町アーケード、がらっば広場、がめさん公園、他公園、くまモンポートやつしろ

植物・花：桜、ヤツシロソウ、肥後花菖蒲、臥龍梅（がりゅうばい）

イベント：妙見祭、くま川祭り、土曜夜市、お雛祭り、塩屋八幡宮祭

特 産 品：トマト、晩白柚、イグサ、メロン、キャベツ、いちご、青のり、このしろ、アユ

商業施設：イオン八代ショッピングセンター、ゆめタウン八代店、八代よかところ物産館

② 日奈久地域（温泉街）観光施設：日奈久温泉、ばんぺい湯、温泉神社、お告げの石、なまこ壁、おりや、日奈久ゆめ
倉庫、金波楼などの木造旅館、路地裏

他 施 設：ＪＲＡ場外馬券場、日奈久ドリームランド

自 然：不知火海

イベント：丑の湯祭り、路地裏散策、「9 月は日奈久で山頭火」、「火流の彩」日奈久スプリングフェスタ

特 産 品：高田焼、ちくわ、ちくわサラダ、竹細工、ニッケ玉

③ 坂本・二見地域**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**観光施設：坂本温泉センタークレオン、道の駅「さかもと」、八竜天文台、坂本わいわいパーク
日光の棚田、二見海水浴場、ＳＬ人吉（令和 6 年引退）**④ 千丁・鏡地域****【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**他 施 設：パトリア千丁、鏡文化センター、フードバーアグリビジネスセンター、大鞆樋門
吉王丸日吉神社、岩崎神社、有佐貝塚、貝洲加藤神社

自 然：潮干狩り、氷川

イベント：いぐさの郷祭り、かがみ愛鏡祭、鮎取り神事、十八夜

特 産 品：畳表、イ草加工品、トマト、じゃがいも

⑤ 東陽地域**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**

観光施設：東陽交流センター せせらぎ、東陽石匠館、石橋、美生の棚田、天神木場の棚田

他 施 設：河俣阿蘇神社、大通り峠

自 然：氷川、河俣川

イベント：東陽しょうが祭り

特 産 品：生姜（加工品含む）、晩白柚、不知火、アユ

⑥ 泉・五家荘地域**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**

観光施設：緒方家、左座家、五家荘平家の里、梅ノ木轟公園つり橋、樅木のつり橋、久連子

古代の里、五家荘自然塾、五家荘溪流キャンプ場、釈迦院、ふれあいセンター泉
 他 施 設：二本杉広場、登山道、氷川ダム
 自 然：紅葉、せんだん轟の滝、梅ノ木轟の滝、矢山岳などの山、吊り橋
 植物・花：しゃくなげ、かたくり、福寿草
 イベント：平家泉お茶まつり、五家荘紅葉祭、ヤマメ釣り大会、平家琵琶と夜神楽
 特 産 品：お茶、やまめ、ます、山椒、柚子、柚子こしょう、ジビエ肉

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

- ① 八代中心市街地
施設数 14 収容人数 1,570 人
- ② 日奈久地域（温泉街）
施設数 11 収容人数 331 人
- ③ 坂本・二見地域
施設数 2 収容人数
- ④ 千丁・鏡地域
施設数 1 収容人数 49 人
- ⑤ 東陽地域
なし
- ⑥ 泉・五家荘地域
施設数 4 収容人数 82 人

<div> <div>■ 八代旅館組合</div> <div>■ 日奈久温泉旅館組合</div> <div>■ 五家荘旅館組合</div> <div>■ 組合所属なし</div> </div>					
エリア	ホテル・旅館名	住所	部屋数	収容人数	電話番号
八代市内	■ 球磨川旅館	萩原町1-2-1	11	39	(0965)32-2015
	■ ホテルウィングインターナショナル熊本八代	旭中央通23-1	130	133	(0965)32-0711
	■ なにわ荘	清水町1-12	14	50	(0965)32-8145
	■ 八代グランドホテル	旭中央通り10-1	74	120	(0965)32-2111
	■ やつしろホテル	麦島東町9-11	25	50	(0965)32-2223
	■ セレクトロイアル八代	本町2丁目1-5	103	163	(0965)34-1111
	■ ビジネス旅館やまだや	出町6番18号	10	18	(0965)33-1732
	■ 朝日旅館	鏡町888-3	15	49	(0965)52-0242
	■ ホテル大黒屋	麦島西町7-15	30	64	(0965)34-0500
	■ つる乃湯	川田町西505	30	40	(0965)39-1000
	■ 東横イン新八代駅	上日置町4790-1	134	162	(0965)31-1045
	■ ホテル・アルファワン八代	本町1-8-39	191	209	(0965)31-0505
	■ ルートイン八代	本町1-1-5	207	255	(0965)53-0011
日奈久	■ スポーツ合宿所 夢ドリーム	郡築二番町117-1	6	60	(0965)37-1204
	■ スーパーホテル熊本・八代	夕葉町4-1	100	207	(0965)39-9000
	■ 金波楼	日奈久上西町336-3	14	40	(0965)38-0611
	■ 柳屋旅館	日奈久中町326	9	30	(0965)38-0125
	■ 鏡屋旅館	日奈久上西町361	4	13	(0965)38-0026
	■ あたらし屋旅館	日奈久中町283	7	29	(0965)38-0213
	■ 山海荘	日奈久上西町494	5	15	(0965)38-0039
	■ ひらやホテル	日奈久東町260-1	6	20	(0965)38-0015
	■ 不知火ホテル	日奈久中西町新4	10	30	(0965)38-0414
	■ 旅館 宝泉	日奈久中町522	7	25	(0965)38-0823
	■ ホテル潮青閣	日奈久中西町485	24	72	(0965)38-3300
	■ 新浜旅館	日奈久上西町487-1	8	25	(0965)38-0838
	■ 浜膳旅館	日奈久中西町379	12	32	(0965)38-0103
泉・五家荘	■ 民宿平家荘	泉町葉木26	4	12	(0965)67-5256
	■ 山女魚荘	泉町桜木106-2	5	20	(0965)67-5201
	■ 桜木山荘	泉町桜木147	11	25	(0965)67-5211
	■ 佐倉荘	泉町葉木6	5	25	(0965)67-5267
	■ 左座荘	泉町仁田尾65	5	15	(0965)67-5466

【利便性：区域までの交通、域内交通】

① 八代中心市街地

○区域までの交通

J R等：九州新幹線、鹿児島本線、肥薩線、肥薩おれんじ鉄道

道 路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路、

国 道：国道3号線、国道219号線

船 舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポートやつしろ（大型クルーズ客船航路）

○域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港—八代市内）

② 日奈久地域（温泉街）

○区域までの交通

J R等：九州新幹線、鹿児島本線、肥薩線、肥薩おれんじ鉄道

道 路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路、

国 道：国道3号線、国道219号線

船 舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポートやつしろ（大型クルーズ客船航路）

○域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港—八代市内）

③ 坂本・二見地域

○区域までの交通

J R等：九州新幹線、鹿児島本線、肥薩線

道 路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路

国 道：国道3号線、国道219号線

船 舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポートやつしろ（大型クルーズ客船航路）

○域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港—八代市内）

④ 千丁・鏡地域

○区域までの交通

J R等：九州新幹線、鹿児島本線

道 路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路

国 道：国道3号線

船 舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポートやつしろ（大型クルーズ客船航路）

○域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港—八代市内）、

⑤ 東陽地域

○区域までの交通

J R等：九州新幹線、鹿児島本線

道 路：九州自動車道路、南九州西回り自動車道路

国 道：国道3号線、国道219号線、国道443号線

船 舶：八代港（コンテナ国際定期航路）、くまモンポートやつしろ（大型クルーズ客船航路）

○域内交通

一般バス：産交バス（市内一円）、神園交通（熊本空港—八代市内）

⑥ 泉・五家荘地域

○区域までの交通

国 道：国道 3 号線、国道 4 4 3 号線、国道 4 4 5 号線

○域内交通

なし

【外国人観光客への対応】

① 八代中心市街地

○これまで

港にクルーズ船が寄港した日には、港からシャトルバスを運行し、八代城址の舟でお堀を巡ったり、人力車を走らせたり、多くの外国人が当該区域に行けるよう試みた。また、昭和 3 0 年代後半から、本市の経済団体では、台湾基隆市の経済団体との交流があり、外国人に対しての勉強会や相互の視察などを実施している。

○今後

ガストロノミーを中心としたツアー造成では、農業収穫体験や産業観光、飲食店を回遊する商店街散策など魅力ある商品を造成する。

※くまモンポートに寄港するクルーズ船の乗客及び乗員を対象とした旅行商品を造成・販売。

※ツアーの提案については、県や経済団体と連携して実施する。

※旅行代理店への売り込みと併せて、台湾や香港の旅行代理店など担当者を招聘し、ツアー想定場所を見学してもらう。

※旅行客にもアンケートを取るなどして随時改善していく。

② 日奈久地域（温泉街）

○これまで

港にクルーズ船が寄港した日には、多くの外国人が当該区域に行けるように、港からシャトルバスを運行している。

○今後

ツアー造成では、温泉を活用した魅力ある商品を造成。

③ 坂本・二見地域

○これまで

観光関係者を中心に外国人への対応の仕方など勉強会を実施した。

○今後

ツアー造成では、球磨川や温泉センタークレオンを活用した魅力ある商品を造成

④ 千丁・鏡地域

○これまで

観光関係者を中心に外国人への対応の仕方など勉強会を実施した。

○今後（八代中心市街地での※は当該地域で実施）

ツアー造成では、農業収穫体験など魅力ある商品を造成。

⑤ 東陽地域

○これまで

観光関係者を中心に外国人への対応の仕方など勉強会を実施した。

○今後（八代中心市街地での※は当該地域で実施）

ツアー造成では、農業収穫体験など魅力ある商品を造成する。

⑥ 泉・五家荘地域

○これまで

現在、五家荘地域でF I T対応ガイドツアーを実施している。
 ○今後（八代中心街地域での※は当該地域で実施）
 ツアー造成では、農業収穫体験や紅葉など魅力ある商品を造成する。
 五家荘では、外国人対応へのガイドツアーを実施しているため、連携して行う。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、地域の持つ資源とその価値を活かした効果的なマーケティングと経済効果を生む仕組みづくりを進めるため。	市や県が発表する観光統計と観光庁による「宿泊旅行統計調査」の結果などを活用。八代市や旅館組合などにも協力を依頼。エリア内に点在する宿泊施設単位でアンケートを実施。
延べ宿泊者数	宿泊は消費単価が倍増することから、戦略的に宿泊者数を増加させるため。	市や県が発表する観光統計と観光庁による「宿泊旅行統計調査」の結果などを活用。八代市や旅館組合などにも協力を依頼。エリア内に点在する宿泊施設単位でアンケートを実施。
来訪者満足度	満足度を高めることにより、旅の目的地として選ばれる地域づくりを目指すため。	来訪者への聞き取り調査などによって把握するとともに県が実施している既存の調査や、宿泊施設単位でアンケートを実施。
リピーター率	地域の価値を伝え満足度を高めることにより、一度来訪した客の再訪率の向上を目指すため。	来訪者への聞き取り調査などによって把握するとともに県が実施している既存の調査や、宿泊施設単位でアンケートを実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

八代地域は、雄大な自然と歴史的遺産が調和する魅力的な地域ですが、観光においてはいくつかの課題も抱えています。以下に、八代地域の観光を取り巻く背景を詳しく見ていきましょう。

1. 強み

- **豊かな自然環境:** 九州山地の山々、球磨川の清流、不知火海など、変化に富んだ自然環境は、観光客に癒しやアクティビティの機会を提供します。特に、球磨川はラフティングやカヌーなどの体験型観光の場として人気を集めています。
- **歴史と文化:** 400 年以上の歴史を持つ八代城跡や、伝統的な祭りである「妙見祭」、石橋づくりの技術など、地域特有の歴史・文化は貴重な観光資源です。
- **温暖な気候と美味しい食:** 温暖な気候で育まれた柑橘類やトマトなどの農産物はもちろん、「晚白柚」のように全国的な知名度を誇る特産品もあります。また、球磨川の鮎や不知火海の魚介類など、新鮮な食材を活かした料理も魅力です。

2. 課題

- **交通アクセス:** 熊本市や福岡市といった主要都市から比較的距離があり、公共交通機関も限られているため、観光客にとってアクセスが容易とは言えない。特に、個人旅行者にとっては移動手段の確保が課題となります。
- **観光客の滞留時間の短さ:** 日帰り温泉施設や道の駅など、点在する観光スポットを巡る観光客が多く、地域全体での滞在時間が短い傾向にあります。宿泊施設の充実や滞在型の観光コンテンツ開発が求められます。
- **知名度の向上:** 他の九州地方の観光地に比べて、全国的な知名度は高くありません。地域の魅力を発掘し、効果的に PR することで、より多くの観光客誘致を目指していく必要があります。

3. 今後の展望

- **体験型観光の推進:** サイクリングなどのアウトドア体験、自然を活かした体験型観光コンテンツの充実が期待されます。
- **歴史・文化資源の発掘と活用:** 八代城跡の整備や祭りとの連携など、歴史・文化資源の魅力を更に高め、観光客誘致につなげていく必要があります。
- **地域連携の強化:** 周辺地域と連携した広域観光ルートの開発や、観光客の周遊促進による地域経済の活性化が期待されます。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線・高速道路等、外からのアクセスが良く、市域内にはＪＲ、おれんじ鉄道など多彩な観光列車が存在する ・八代海の温暖な気候が、柑橘系フルーツの生産を市域全体で可能ならしめ、南国独特の物産品、食品が多い ・広い市域面積を誇り、海・山・川の自然の魅力に富んでいる。 ・都市部、山間部、温泉地など、地域ごとに特徴を活かした宿泊の選択肢が多い。 ・西日本唯一の全国花火競技大会やユネスコ無形文化遺産である妙見祭など誇れるイベントが存在する。これらイベントに県内観光客が日帰りも多く訪れている。 ・地元住民間の絆・繋がりが強く、おもてなしの気持ちが行き届いている。 ・八代港にクルーズ船の拠点「くまモンポート」がオープンしており今後の熊本県の海の玄関口として期待される。 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ・団体客から小グループ、ＦＩＴ中心にシフトすれば、観光のイメージが弱い八代にとっては観光客から選ばれなくなる。 ・八代駅・新八代駅から市の各地域へのアクセスが悪い。観光ポイントも広域に分散立地し、アクセスが悪い。 ・日奈久温泉地域と五家荘地域の疲弊、問題地域化している。 ・イベント時期に観光客が固まっている。 ・ワンストップ拠点の八代駅・新八代駅が通過駅となり、玄関口・ワンストップ窓口としての機能が弱い。 ・お土産品として絶対的な八代ブランドがない。 ・山間地域や河川流域の通信環境や二次的交通環境が整っていない。 ・観光、地域づくり面の人材不足、女性の参画が少ない。 ・地区内や単体組織と他地区や他組織との温度差がある。 ・単発のイベントのアピールにこだわり、それぞれの優れた素材の繋がりが薄い。
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ・コロナによりマイクロツーリズム需要が増えれば、熊本県第２の都市として足元人口約１３万人をターゲットにできる。 ・アウトドアに観光客がシフトしているので山、川、海の自然をすべて持っている八代にとってチャンス。 ・球磨川河川敷でバーベキューができる無料施設が完成しアウトドアなど利用する人が増える。 ・五家荘という観光地ブランドの存在とツーリズムの潜在力。 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる観光経済の低下。 ・会員様の経営難による脱退等による収入減。

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第１ターゲット層
八代市民及び八代市から１時間圏内の県民。
○選定の理由
八代市は広いので、地元住民が行ったことがないところ、地元のことを知らないことが多く、この機会に改めて地元の良さ、歴史文化を知って、住民間の交流、郷土愛を育み、ファンになることで地元の誇りに繋がり、結果県外客やインバウンドの方へのおもてなしにも表れてくることを期待したいため。
○取組方針

<p>令和４年度に取り組んでいる「謎解きロゲイニング」や「ＡＲコンテンツ」の作成を進めており、これまで光を当てていなかった歴史文化施設や日本遺産登録を受けている石橋や八代城跡などの歴史遺産を学び、ストーリー仕立てにしてガイドが説明するコンテンツに磨き上げる。</p> <p>食にも力を入れ、食べに行きたいお店、持って帰りたいおみやげを強化する。ロケーションと歴史とアクティビティと食を組み合わせ、連泊できる滞在交流型観光に造成する。</p>
<p>○ターゲット層 県内外のＦ２層（３０代・４０代の女性）を中心とした旅行者</p>
<p>○選定の理由 Ｆ２層（３０代・４０代の女性）は、経済力、行動力、情報発信力などがあり、旅行に対して多様な個性目的を求めている世代でもある。そのため、八代に魅力的な農作物や自然・文化をこちらから発信し、多くの方に来ていただき、付加価値のある旅行商品の提供により、八代地域の経済の活性化に努めていく。</p> <p>○取組方針 「食」「学」「美」をコンセプトにした商品の造成・販売</p> <p>（１）旅行商品販売</p> <p>「食」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物（トマト、晩白柚、柚子、しょうがなど）の収穫体験型のツアーの造成 ・域内で生産される柑橘類の洗い出しとコンセプトに対応した旅行商品開発 <p>「学」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史建造物や文化財を活用した体験型旅行商品の造成・開発 ・お茶文化を背景にした野点などを活用した体験型旅行商品の開発 ・市学芸員などをガイドにした旅行商品の開発 <p>「美」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日奈久温泉を活用した商品の造成 ・五家荘の自然を活用した体験プログラムの造成 ・ヨガやネイルなどを取り入れたセルフコンディショニングツアーの造成 <p>（２）イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新八代駅前広場での出店の開催 ・市内飲食店と連携したイベントの開催 ・有名シェフを招いたジビエ料理教室などの開催 ・スイーツを活かしたイベントの開催 ・レディースデー（女性のサービスする日）の整備 <p>（３）情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ＳＮＳ（ＨＰ・YouTube など）での情報発信 ・八代亜紀さんなど市の観光大使を活用した情報発信 ・エージェント（福岡や熊本市内などの旅行代店）訪問 ・福岡など大都市部での観光ＰＲ実施 ・女性向け雑誌などでの商品掲載 ・とまピン（トマトのゆるキャラ）などを活用した情報発信 ・他県の観光案内所との情報発信相互協定の締結
<p>○ターゲット層 旅行会社、国内個人旅行者</p>
<p>○選定の理由 多様な関係者との連携を図り、ＤＭＯやつしろを核とした観光地域づくりを目指す。</p> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会の誘致や宿泊の斡旋、練習会場・相手のマッチング ・経営戦略を立て効果的に事業を執行する専門的人材の活用及びプロフェッショナル職員の育成 ・ラウンドオペレーター、サプライヤーとなるべく人材の育成、多言語・日本語ガイド育成 ・国の史跡に指定されている八代城址でお濠巡りツアーを展開し、飲食店事業者などと連携した事業を推進する

<ul style="list-style-type: none"> ・全国花火競技大会当日の宿泊が確保できない問題に対応するため民泊サービスを展開する。また、通年の訪問者確保のための新商品開発や「花火通り」の設置に取り組む。さらには、花火見学ポイントガイドブックを作成するとともに、首都圏へのPR事業を併せて行う。 ・妙見祭ユネスコ世界遺産登録後における通年訪問者の取り組みとして、新商品開発や妙見さん通りの設置に取り組む。また、旅行者用の着物を購入し、妙見祭を楽しんでもらう。 	
<p>○第4ターゲット層 台湾・中国・香港など東アジア地域の旅行者</p>	
<p>○選定の理由 クルーズ船の八代港への寄港数は、平成27年度は11隻、平成28年度は17隻、平成29年度は70隻以上の入港実績を数えた。しかし、熊本地震の影響で減少し、新型コロナが発生し、寄港数は0回となった。令和4年度に国内邦船が寄港し、令和5年度には18隻の受入がなされた。まだ、低調である。国などの支援を受けつつくりではあるが、寄港数の上昇や海外旅行者の入国も進んでいるため、クルーズ顧客のみならず、台湾や香港など東アジアの個人旅行者に対しても、イベントや祭り、農作物の収穫などの体験型旅行商品を販売し、八代や九州を楽しんでもらい、旅行のすばらしさと継続して震災復興に取り組む「くまもと」を広める。旅行商品の造成には、マーケティング調査やランドオペレーターの意見を分析し、ターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。</p>	
<p>○取組方針</p>	
<p>1. FIT対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域や農産地域などへの施設や園場などを訪問し、観光資源の再発掘を行う。 ・伝統文化（茶会・浴衣の着付け体験、八代城址でのイベント開催） ・旅行者にとっては、行政区域はほとんど意味を有さないという「顧客視点」に鑑み、観光資源は八代地域の拘らず、熊本県南地域や南九州地域も交え作成する。 ・海外アウトバウンドの旅行代理店の担当者を招聘し、観光地を案内する。 ・英語表記サインの指導及び提供 ・県南地域を結ぶ鉄道の活用促進と新たな観光資源を開発するための調査及びガイドブックなどを作成するとともに、連携イベントを実施する。 	
<p>2. クルーズ船顧客対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型クルーズ船の旅行者を対象にしたツアー企画を作成する。 ・出港時間の制約があるため、八代城跡や本町商店街を散策できる短時間ツアーなども造成する。 ・イオンなどと連携して、クルーズ船の寄港中限定で八代地域の特産品がイオンで販売できるような体制を構築する。 ・県南自治体とのツアー造成のための連携（天草市、人吉市、氷川町、芦北町など） ・前述したとおり、観光資源は八代地域の拘らず、熊本県南地域や南九州地域も交え作成する。 ・県南15市町村の地域の豊かな魅力を映像に落とし込み、クルーズ船・海外メディア・旅行関連会社などでPRする。 	

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>「やつしろシトラス（知つとらす）観光圏」地域づくり</p> <p>○基本コンセプト</p> <p>九州の背景である山深い五家荘から西の不知火海まで多様な自然環境を有する八代市はトマトなど農産生産が盛んで、特に晩白柚（ばんぺいゆ）に代表される柑橘類が盛んに生産されている。その豊かな自然環境を土台に、世界無形文化遺産へ登録された八代妙見祭など文化や歴史が色濃く受け継がれてきた。</p>
--------	---

②コンセプトの考え方	<p>○多様な柑橘系のフルーツが生産され、山・川・海の文化を育んだ自然の力</p> <p>○温暖な気候が温州みかんだけでなく、晩白柚、デコポン、甘夏ミカン、パール柑、金柑、柚子、ザボンなどの多様な柑橘を生み、人の生活・生業によってイ草、塩トマト、梨、茶などが登場</p> <p>○収穫可能な恵みの柑橘(シトラス)の里から、国内外の人々が憩う文化・交流(「知っとらす」地域学・地元学)の里へ</p> <p>○自然な恵みのシンボルとしての柑橘を意味する「シトラス」</p> <p>○八代地方の方言である「知っとらす(=知っている)」</p> <p>感動・満喫・柑橘の里</p> <p>また、来たくなるシトラスの国</p> <p>(自然の恵み) トマト、柑橘類、い草、梨、茶、生姜、晩白柚</p> <p>(わざと知恵) 秘境五家荘、宮地紙漉き、日奈久温泉文化</p> <p>(祭事・祈り) 八代妙見祭、鮎取り神事、久連子の古代踊りほか</p> <p>。</p>
------------	---

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	<p>年間3回以上の理事会と定時総会を開催し、行政、経済団体、宿泊事業者、交通事業者など多様な理事と協議し連携を図っている。</p> <p>また、各地域においても地域住民の方々や地域の振興団体と一緒にイベントを実施するなど、多様な関係者との取組みに発展している。</p> <p>観光地域づくり法人としては、クルーズ活性化協議会、まちひとしごと策定委員会、総合計画策定員会、アウトドア、サイクルツーリズム、各種市イベントの実行委員会、各地域のお祭りに関する実行委員会など各種協議会の委員として、観光分野における参画を行っており、様々な関係者との連携・共有をおこなった。</p>
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>地域にある3つの旅館・ホテルの組合と密に連携、情報共有を図りながらサービスの向上、維持に取り組む。</p> <p>観光客のアンケート調査結果について情報共有を図った。</p>
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	<p>八代駅観光案内所や新八代駅観光案内所を起点として、質の高い情報発信に努める。</p> <p>DMOやつしろのホームページへの情報掲載の大幅な増加。</p> <p>令和6年度にはLINEを活用した会員サービスの拡大、観光客への情報提供などを積極的に展開する。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

(1) 必須K P I

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	800 ()	1000 ()	1000 ()	7700 ()	7700 ()	7700 ()
	実績	927 ()	7,788 ()	7,742 ()			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	200 (1)	250 (3)	350 (3)	300 (3)	300 (3)	300 (3)
	実績	378 (3)	278 (3)	282 (3)			
●来訪者満足度 (%)	目標	75 ()	80 ()	80 ()	87 ()	90 ()	90 ()
	実績			87 ()			
●リピーター率 (%)	目標	30 ()	40 ()	45 ()	70 ()	70 ()	70 ()
	実績			72 ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

・市で収集している宿泊者数を実数値とし、宿泊施設で実施した宿泊者のアンケートの観光消費額の平均額を掛け算して八代市の消費額とする。宿泊施設や観光案内所でのアンケートを基に満足度、リピート率を図っていく。旅館ホテルと連携し、宿泊者のアンケート調査をもとに、観光に来ていただいた方の満足度を高め、リピーターになっていただくことで底上げを図っていく。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

新型コロナが拡大し、本市に来遊すること自体が減少しているため、令和2年度については旅行消費額は減少している。今後、ガストロノミーツーリズムを核とした観光客の増加が見込めるため、旅行消費額にともっても増加を見込んだ数値を設定。

●延べ宿泊者数

八代市で収集している数字を用いる。コロナ禍による落ち込みがあるが、豪雨災害による工事作業員の長期滞在が反映している。また、八代の宿泊の特徴として、教育旅行や学校のスポーツ大会、全国花火競技大会などの団体客、イベントで宿泊する人が多いため、例年通り行われれば戻ってくると思われる。

●来訪者満足度

各宿泊施設にて記入式アンケートを実施している。令和2年度より実数値が取れていなかったが、令和5年度実施。

●リピーター率

令和2年度から実績値が取れていない。令和5年度より宿泊施設における留め置き調査を実施。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
くまナンステーション売上(店舗) (万円)	目標	850 ()	950 ()	200 ()	620 ()	620 ()	620 ()
	実績	137 ()	285 ()	620 ()			
●ふるさと納税売上 (万円)	目標	600 ()	1000 ()	900 ()	900 ()	900 ()	900 ()
	実績	514 ()	1864 ()	1,000 ()			
●サイトアクセス数(月平均)	目標	10000 ()	5000 ()	5000 ()	5000 ()	5000 ()	5000 ()
	実績	3277 ()	5425 ()	65303 ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
 ※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

自走していくための自主財源を確保する事業をKPIとして設定した。

【設定にあたっての考え方】

●くまナンステーション売上(店舗)

これまでクルーズ船客をターゲットにくまモングッズ専門店として運営していたが、クルーズ船の寄港減によりインバウンド客が来なくなったため、運営費をカバーする売上が見込めなくなった。地元物産の構成比を高め地元の人が買っていただく店構えにリニューアルしたものの来客数は伸びていない。度は12月までで2020年度売上を超えているため、目標値を200に変更し、次年度以降15%ずつ上げていく。

●ふるさと納税売上

市が運営しているふるさと納税業務の一部を請け負わせていただく。会員事業者のほか、すでに返礼品登録を行っている事業者に訪問活動やイベント連携などを市と行うことで一定の利益となるよう実施する。令和5年度からは総寄付額の0.5%の事業委託料とする。

●サイトアクセス数(月平均)

着地型体験メニューや地域の観光ポイントを主に紹介していたホームページを、観光、物産両面で掲載内容の追加を行った。以降、市のHPとの連携・統合も検討しつつもアクセス数については現実数に近い設定とする。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（Ｒ３） 年度	100,535,378（円）	（内訳の区分例） 【会費収入：1,580,000円】 【補助金事業：11,130,703円】 【委託事業：78,199,361円】 【自主事業：7,778,662円】
2022（Ｒ４） 年度	188,430,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,750,000円】 【補助金事業：33,300,000円】 【委託事業：122,000,000円】 【自主事業：11,750,000円】
2023（Ｒ５） 年度	147,859,326（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,650,000円】 【補助金事業：32,381,000円】 【委託事業：81,531,881円】 【自主事業：31,993,775円】
2024（Ｒ６） 年度	175,000,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,700,000円】 【補助金事業：30,000,000円】 【委託事業：100,000,000円】 【自主事業：20,000,000円】
2025（Ｒ７） 年度	175,000,000（円）	（内訳の区分） 【会費収入：1,700,000円】 【補助金事業：30,000,000円】 【委託事業：100,000,000円】 【自主事業：20,000,000円】
2026（Ｒ８） 年度	（円）	（円）

(2) 支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3） 年度	94,528,842 （円）	（内訳の区分） 【事業費支出：91,397,753 円】 【管理費支出：3,131,089 円】
2022（R4） 年度	176,842,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：172,220,000 円】 【管理費支出：4,621,000 円】
2023（R5） 年度	149,849,844（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：143,016,921 円】 【管理費支出：6,832,923 円】
2024（R6） 年度	137,000,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：133,000,000 円】 【管理費支出：4,000,000 円】
2025（R7） 年度	137,000,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：133,000,000 円】 【管理費支出：4,000,000 円】
2026（R8） 年度	137,000,000（円）	（内訳の区分） 【事業費支出：133,000,000 円】 【管理費支出：4,000,000 円】

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・令和3年度に「物産連携事業」を受託し、DMO会員への訪問ヒアリングにより「ふるさと納税」周知を通年に渡り実施するとともに3月に「寄附者ツアー」を実施。
- ・令和4年度には「ふるさと納税」の返礼品業者開拓・打ち合わせ・イベント参加など自治体と連携しながら通年で実施する事業を受託。
- ・令和3年・4年度に、県や市と調整し、クルーズ客船の受入体制構築のための広域範囲に渡る事業者訪問ヒアリング調査事業などを受託。
- ・地方創生交付金や複数年の委託事業などが令和3年度までですべて終了したころから、自治体と協議し、令和4年度以降、プロパースタッフや派遣人材についての補助金を創設いただき、通常分、臨時分として一定額の補助金を受けている。
- ・以降、市イベント関連の事業について仕様書内容などを協議し、観光地域づくり法人としてより市や地域と連携できる内容への修正していただけるよう調整中である。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

熊本県八代市は、（一社）DMOやつしろを当該市における地域DMOとして位置づけ、地方創生並びに観光振興・物産振興を推進します。

クルーズ船受入業務の委託、施設管理など観光に資する事業については積極的にDMOが受託し活動が継続できるように、両者で話し合いを重ねながら協働している。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

カッセジャパンとはお互いの強みを活かしながら、地域での調整などをDMO やつしろが担い、地域外の調整についてはカッセジャパンで担いながら事業を推進している。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

重複する活動はない。

カッセジャパン：熊本県観光連盟などの受託事業で八代地域に送客するなどの業務

DMO やつしろ：カッセジャパンからの依頼で地域内での体験の手配、地元調整業務など

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	中村 和博
担当部署名（役職）	次長
郵便番号	〒866-0861
所在地	熊本県八代市本町1丁目10-36 ヨネザワビル
電話番号（直通）	0965-31-8200
FAX番号	0965-32-2334
E-mail	Kazu.dmo.8246@gmail.com

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	熊本県八代市
担当者氏名	宮崎 克彦
担当部署名（役職）	係長
郵便番号	866-8601
所在地	熊本県八代市松江城町1-25
電話番号（直通）	(0965) 33-4115（直通）
FAX番号	(0965) 33-4516
E-mail	katsu-myl@city.yatsushiro.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

熊本県八代市

【設立時期】平成28年3月1日

【設立経緯】

(例)①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】代表理事 福島 誠治

【マーケティング責任者(CMO)】中村 和博

【財務責任者(CFO)】佐藤 圭太

【職員数】19人(常勤11人(正職員9人・出向等2人)アルバイト8名)

【主な収入】事業収入145百万円

(事業収入31百万円、委託料81百万円、補助金32百万円)

【総支出】事業活動支出149百万円

事業活動費 143百万円、管理費 6百万円

【連携する主な事業者】

熊本県、八代市、八代商工会議所・商工会、JA、漁協、旅館組合、体育協会、熊本県観光連盟等

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年7月29日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行 消費額 (百万円)	目標	800 ()	1000 ()	1000 ()	7700 ()	7700 ()	7700 ()
	実績	927 ()	7788 ()	7742 ()	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	200 (1)	250 (3)	350 (3)	300 (3)	300 (3)	300 (3)
	実績	378 (3)	278 (3)	282 (3)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	75 ()	80 ()	80 ()	87 ()	90 ()	90 ()
	実績	()	()	87 ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	30 ()	40 ()	45 ()	70 ()	70 ()	70 ()
	実績	()	()	72 ()	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

市民、1時間圏内の県民、県内外のF2層(30代・40代の女性)、旅行会社、国内個人旅行者、諸外国の旅行者

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

・イベントを絡め歴史文化や日本遺産などに関心のあるコンテンツへ。

・スポーツ大会誘致、花火大会・ユネスコ世界遺産登録妙見祭の観覧席販売。

・教育旅行先を探している旅行代理店へパンフレットの郵送。宿泊施設との調整。

【観光地域づくりのコンセプト】

八代でしかできない体験コンテンツの造成

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・ロゲイニングガストロノミーの実施
- ・ONNSENガストロノミーの実施
- ・電動自転車の貸出、ルート開発
- ・豚の生姜焼き聖地化プロジェクト

【受入環境整備】

- ・アウトドアステーションの整備、運営
- ・豚の生姜焼き提供できる飲食店20店舗整備
- ・東陽生姜を活用したお土産品開発

【情報発信・プロモーション】

- ・Instagram(flat_8246)による情報発信
- ・HPによる情報発信
- ・旅行会社訪問によるツアー造成



謎解きロゲイニング



八代生姜のすゝめ